

第10回卒業証書授与式

3月11日(水)第10回卒業証書授与式が挙行されました。46名の3年生が、別れの悲しみを感じつつ、大きな充実感に満ちた表情でこの学び舎を巣立っていきました。送り出した在校生も、しっかりと後を受け継いでいこうという意志と成長が感じられました。町長はじめ教育長、町議員、学校評議員など、ご臨席いただいた来賓や保護者の皆様の祝福を受け、素晴らしい卒業式だったと思います。卒業式では、次のような話をしました。



…今年度の生徒会活動のスローガンは「繋げ」でした。学園祭では、歴代の生徒会長から当時の思いをメッセージとして受け取り、10周年の節目となる素晴らしい学園祭を創り上げました。日常生活においても、課題となっている家庭学習の取組などを縦割り班で紹介し合う活動を仕組み、チームで課題を解決していこうとする姿勢は、次第に活動の様々な場面での意識の高まりに繋がり、一人一人の思いや願いのベクトルを一致させる大切な役目を果たしていたように思います。そういった活動の過程そのものが掛け替えのないものであり、たくさんの学びが詰まっていたのだと思います。計画通りに行かずに、思い悩んだこともあったかもしれませんが、そのような中でも、この身延中学校の伝統を引継ぎ、さらにレベルアップさせ、後輩や次の世代に繋げていこうという目標に着実に近づくことができたのではないかと思います。これからは、それぞれの進路へと歩みを進めます。進む道は様々ですが、どの道を選んでも忘れないでほしいことを三つ伝えました。

一つ目は、「自分で考え、判断し、行動すること」です。これからは、自分の選択・判断が自分の未来を形づくります。迷うこともあるでしょう。しかし、失敗を恐れず、自分の頭で考え、納得のいく選択・判断をしてください。決断した道を正解にするのは、ほかの誰でもない、卒業生自身であることを最初に伝えました。

二つ目は、「人とのつながりを大切にすること」です。仲間、家族、先生方、そしてこれから出会う多くの人々との関わりは、皆さんの人生を豊かにし、視野を広げ、時に支えとなります。人は一人では生きていけません。互いに支え合い、感謝の気持ちを忘れず、思い遣りを持って関わることで、社会はより良いものになっていきます。この日は、東日本大震災も15年目でもありました。また、戦後80年を迎え、卒業生は修学旅行で広島を訪れ、平和について考えましたが、世界に目を向けて見ると、紛争や飢餓、災害で苦しんでいる人たちが今、この瞬間にもたくさんいます。対岸の火事と捉えるのではなく、思い遣る心が社会を変える原動力になると信じ、相手を思い遣る心を持ち続け、この身延で育んだ温かい心を、これから進む新しい場所でも大切にしてほしいと思います。

三つ目は、「挑戦し続けること」です。皆さんには無限の可能性が 있습니다。新しいことに挑戦する時、不安はつきものです。しかし、その一歩を踏み出した先にこそ、成長があります。どんな小さな挑戦でも構いません。昨日の自分より、少しだけ前に進む、その積み重ねが皆さんの未来を切り開きます。挑戦し続けることで、見える景色が必ずあります。……

開校から10年という大きな節目の年に、卒業生が残した足跡は身延中学校の進むべき道筋を明確に示してくれました。3年生が受け継ぎ、新校舎とともに進化させた身延中学校の基本形は、後輩たちがしっかりと引き継ぎ、さらに磨きをかけ、誰にとっても心のふるさととなる地域の学校に発展していくことを願います。

3年生の保護者の皆様、3年間にわたり本校の教育活動に惜しみないご支援をいただき、本当にありがとうございました。卒業生の皆さんの輝ける未来での活躍を期待しています。



着実に成長した一年

令和7年度も終わり、桜も満開の季節となりました。先日の卒業式では、1・2年生の頼もしい姿、特に「春に」の合唱に感動しました。感謝の思いが3年生に届いたと思うと同時に、1・2年生自身も納得して歌いきった、やりきった充実感を感じたことと思います。

3年生はいなくなってしまうても、「大丈夫、1・2年生がしっかりとやってくれるな！」という安心感と大きな期待を持った卒業式でした。着実に成長し、大きくたくましくなっていることを実感しました。

この一年、皆さんは学習、部活動、行事、日々の生活に真剣に取り組んできたと思います。上手くいったことも、思い通りにいかなかったことも、すべてが皆さんの成長につながりました。

「修了」とは、学んだことを自分の力として身に付けたことを確認するという意味があります。修了式は、その一年間の成果を確かめる日です。1年生は、不安もあった中学校生活のスタートでしたが、皆さんは新しい環境に慣れ、授業や行事に積極的に取り組みました。来年度は後輩が入ってきます。自分がしてもらって嬉しかったことを、今度は皆さんが伝えていってほしいと思います。2年生は、学校の中心として3年生を支え、1年生の良き手本となってくれました。責任ある立場を経験したことで、大きく成長しました。来年度はいよいよ最上級生です。身延中学校をさらに良い学校にしていく中心としての更なる活躍を期待しています。

春休みは心と体を整える大切な時間です。事故やけがに気をつけ、規則正しい生活を心がけてほしいと思います。次に全員がそろうのは4月7日、2年生・3年生としてのスタートの日です。合唱曲「春に」の「この気持ちはなんだろう」という歌詞がありますが、1年後、生徒の皆さんはどんな気持ちになっていたのでしょうか。自分が思い描く“その気持ち”になるための決意を持って、元気な顔で新年度を迎えられることを願っています。

■中学学年別バトミントン大会 2年男子ダブルスB級 優勝 依田さん・戸栗さん
2年女子ダブルスB級 3位 片田さん・伊藤さん
2年男子シングルスB級 3位 田村さん

■笛吹市全国中学生俳句会 特選 3年 佐野さん 入選 3年 四條さん 木村さん 佐野さん

■青少年育成県民会議「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター佳作 3年 佐野さん 秋山さん 1年 中野さん

■教育祭県下小中学校書きぞめ大会

県特選 1年 飯島さん 竹内さん 林さん 山田さん 2年 石川さん 小泉さん 望月さん 依田さん
3年 近藤さん 前澤さん 穂坂さん 山田さん

地区入選 1年 石川さん 植松さん 片田さん 佐野さん 中野さん 丸山さん 山田さん 山田さん
2年 石部さん 岩澤さん 氏原さん 木内さん 小泉さん 佐藤さん 鈴木さん 戸栗さん
松田さん 望月さん 依田さん 依田さん 若尾さん
3年 青柳さん 秋山さん 岩浅さん 小林さん 佐野さん 四條さん 高松さん
津嶋さん 望月さん 山田さん

■身延町西嶋和紙の里祭綵書道展 和紙の里賞 2年 石川さん

推薦 1年 石川さん 林さん 山田さん 特薦 37名
2年 依田さん 望月さん 小泉さん 石部さん 金賞 86名
3年 近藤さん 前澤さん 山田さん 岩浅さん

■山梨県野球連盟 中学生優秀選手賞 3年 津嶋さん

■山梨県県道連盟表彰 3年 山本さん

■山梨県吹奏楽連盟表彰 3年 佐野さん

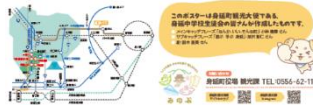
■3年間皆勤賞 長田さん 遠藤さん

受賞の記録

■身延町観光 PR ポスター制作完成報告会

3月12日(木)生徒会執行部の3名が町長室を訪れ、観光PRポスター制作完成の報告をしました。観光大使として役割の一端を果たせたのではないかと思います。

メインキャッチコピー 2年 小林さん
サブコピー 1年 林さん 1年 深沢さん 2年 井出さん
絵 1年 山田さん 3年 鈴木さん 3年 望月さん



* 個人情報保護の観点から生徒氏名は苗字だけにしていることを申し添えます